

ボストン・クリーンテック・イノベーションエコシステム 成長産業を支える多様なステークホルダー



(Photo courtesy of SeaAhead.)

Introduction

マサチューセッツ州において、エネルギー・気候政策に焦点があたっている。例えば 2035 年までに電力会社が 100%クリーンな電力を供給すること、化石燃料による暖房を使用しない新しい建物を建設すること、2035 年以降に販売されるすべての新車を電気自動車にすることなどを義務付ける法案が州政府に提出されている。このようなトレンドに後押しされるようにボストンエリアでは CleanTech が注目されており、再生可能エネルギーやその利活用を促進する蓄電技術に注目が集まっている。今回は CleanTech に着目してその周辺にあるエコシステムを紹介したい。

ベンチャーキャピタル

Clean Energy Ventures (<https://cleanenergyventures.com/>)

エネルギーの生産と消費の方法を変えることができるテクノロジーとビジネスモデルのイノベーションに投資している。これによって気候変動に対処することを目的として

いる。例えば、効率的なカーボンファイバーの製造・利活用による交通・航空分野での省エネルギーの促進を行う企業に投資している。

TiE ScaleUp (<https://www.tiescaleup.org/>)

TiE ボストンによる 6 ヶ月間のアクセラレータープログラム。適切な成長段階にあるスタートアップを対象とし、セクターに特化したメンターシップ、CEO や業界パートナーとのラウンドテーブル、プログラム期間中の投資家との接触、プログラム終了時のショーケースなどでサポートする。

コミュニティ/共同ラボ

SeaAhead (<https://sea-ahead.com/>)

養殖・漁業や海通、洋上風力などの分野で、持続可能性に関連する技術ベースのイノベーションであるブルーテックに注力するアクセラレーター。Cambridge Innovation Center とパートナーシップを組み、SeaAhead Hub という海洋関連の起業家、成長企業、投資家、非営利団体、公共部門、研究者が共同作業や会議を行うための中心的な場所を提供し、ブルーテック分野の成長を促している。

Greentown Labs (<https://greentownlabs.com/>)

2011 年にマサチューセッツ州サマービルに設立された北米最大のクリーンテック・インキュベーター。約 10,000 平方メートルのキャンパスには、試作室、ウェットラボ、共有オフィス、機械工場、電子実験室、イベントスペースなどがある。90 社以上のスタートアップ企業が入居しており、設立以来 210 社以上を支援している。

North Shore InnoVentures (<https://nsiv.org/>)

非営利のインキュベーター。クリーンテックやバイオテック分野の新興企業を支援している。有望なスタートアップ企業に対し、オフィススペース、共同研究室や設備、スポンサーによる専門的なサービス、成功した起業家のメンターや投資家のアドバイザーを提供している。

スタートアップ

Form Energy (<https://formenergy.com/>)

再生可能エネルギーの利活用に向けた低コストの蓄電池を開発するスタートアップ。脱炭素社会を実現するための最大の障壁である、異常気象や送電網の停止、再生可能エネルギーの発電量が少ない期間が何日も続いても、エネルギーを利用できるようにするという課題に取り組むために蓄電池を利活用している。蓄電池は現行で主流の液体リチウム蓄電池ではなく、空気鉄蓄電池を開発している。

indigo (<https://www.indigoag.com/>)

indigo は、生産者やバイヤーとともに、高品質で持続的に生産される食品や繊維への需要に応えるシステムを構築している。これらの技術は、農業のバリューチェーン全体を網羅した先駆的なビジネスモデルを支えている。

VIA (<https://www.solvewithvia.com/>)

VIA は、ビッグデータ分析ソフトウェアを提供し、コスト削減と AI やブロックチェーン技術を用いて、送配電のサービス品質を向上させるビッグデータ分析ソフトウェアを提供している。

Bevi (<https://www.bevi.co/>)

カスタムメイドの栄養素を含んだ健康と地球に優しい飲み物のサーバーを提供している。これによってペットボトル飲料の消費を削減し、その製造と運送に必要な資源を節約している。

SparkCharge (<https://www.sparkcharge.io/>)

電気自動車用のポータブルな超高速モジュール式充電ステーションを開発・製造している。モバイル充電を可能にし、利用しやすくすることで有線インフラの課題を解消する超高速モバイル充電ネットワークを構築し、EV の所有を容易にすることを目標とする。

Government/Organizations**Massachusetts Clean Energy Center (<https://www.masscec.com/>)**

電気事業者の規制緩和の一環として 1997 年にマサチューセッツ州議会で承認された「マサチューセッツ再生可能エネルギー信託基金」を財源とする準公的機関。マサチューセッツ州のクリーンエネルギー経済を成長させながら、州の目標を達成し、クリーンエネルギーと気候ソリューションのイノベーションを促進する経済開発機関。クリーンエネルギー技術導入へのインセンティブ、初期段階の企業や技術開発への資金提供、クリーンエネルギー分野の人材育成プログラムへの投資など、25 以上のプログラムを提供している。

Northeast Clean Energy Council (<https://www.necec.org/>)

アメリカ北東部に世界クラスのクリーンエネルギー・ハブを構築するための非営利組織。NECEC には、Northeast Clean Energy Council（非営利のビジネスメンバー組織）と、NECEC Institute（産業研究、イノベーション、政策開発、コミュニケーション・イニシアチブを中心とした非営利組織）がある。ビジネスリーダーや主要なステークホルダーを集め、影響力のある政策議論のイニシアチブをとるとともに、クリーンエネルギー業界を前進させるためのコネクションを構築している。